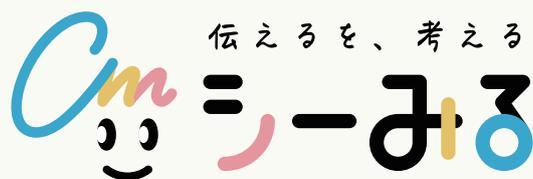


はじめまして。

私たちは、

「伝え方をつくる」

クリエイティブスタジオです。



What We Do



What we Do

われわれは、何をするのか。

この3つのパワーを武器に、「御社の持つ特徴や技術、企画、ノウハウなどをもっと活用し、**伝えていく活動**」の支援を行っています。



企画（アイデア）

- ・体験、商品、企画として成立させる
- ・コンセプト、ストーリー、ルール、体験導線を組み立てる

つまり ...

デザインと AI を駆使し、
御社にぴったりのワクワクを
クリエイトする、そんな会社です。



表現（デザイン）

- ・デザイン、イラスト、コピー、映像など適切な手段を組み合わせ、伝わる形を見つける
- ・UX や AI 活用など、スムーズに届けたいことを体験してもらえらる仕組みをデザインする



実装（技術）

- ・Web 制作、AI 組み込み、インタラクション設計などで、届く導線を作る
- ・弊社が所有するテック技術を用いて、爆速でプロトタイプを用意し、体験してもらう

どうやって、仕事が進むのか。

1. 相談

最も重要です。やりたいことがある人も、まだどんなことができるのかイメージできない人も、弊社にご興味を持っていただけたのであれば、ぜひ、お気軽にご連絡ください。
このフェーズでは、御社のお困りごとやもっと活用したい技術、眠っている社内リソースなどをお聞きし、一緒に「何を、誰に伝えていくのか」を考えます。

2. 設計

何を誰に届けるべきか、その核が見つかれば、ここからは一度私たちにお任せください。
どうやって届けるのか、その適切な手法を模索していきます。

3. 企画提案

設計した企画を、ご提案いたします。
企画の基本方針が決まれば、一緒に練り上げていきます。このフェーズでは、様々に議論を交わし、御社と弊社で一体になって一緒に作り上げたいと考えています。

4. 制作

企画の決定後、制作作業に移ります。弊社では、デザインからシステム実装まで、一貫して請け負うことができます。ぜひ、お任せください。

5. 展開

完成した企画を、受け渡し、御社のご意向で様々に展開していただけます。
また、これ以降も、御社のご要望に合わせて、一緒に併走させていただく場合もございます。
小さくともインパクトがあり、ワクワクする企画でお楽しみいただけると幸いです。

企画のみ、実装のみなどの
スポットでのご依頼も、
お気軽にご相談ください。



アニマルピコタッチ

企画 表現 実装 商品

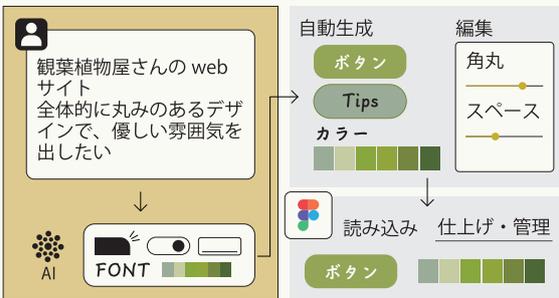
カードとアプリでゲームが進む、次世代型ボードゲームです。スマートフォンにスキャンして使える「NFC カード」をもっと多くの人に触れてもらうための企画としてスタートしました。プラスチックカード印刷会社である（株）研美社様との共同開発である本企画は、ボードゲームという形に昇華していきます。弊社は、カードをどのように活用し、誰に届けるかを設計するところから商品の完成まで、ゲームデザインやビジュアルデザイン・アプリ作成などを共同で担いながら併走しました。



デザインシステム with AI

AI 活用 企画 実装 サービス

設計思想



デザインを统一的に扱い、開発の速度を大きく上げられるデザインシステム。その重要性は、AI時代に突入してより高まっています。ここでは、デザインシステムを簡単に整備し、AI開発でも「伝わる」UIの実装を支援します。

「デザインシステム with AI」のできる、3つのこと

1. AIの補助で、基礎になるデザインシステムを爆速で作ることができる
2. デザイナーでなくても、統一的なデザインを簡単に準備できる
3. 最終的にはFigmaに移行し、人が手直して、管理できる

PFAL ナビ

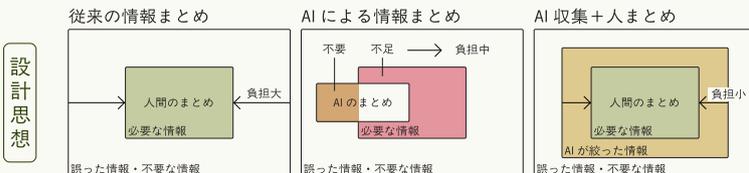
AI 活用 表現 実装 Web

AIに聞けば、情報をまとめて整理し、教えてくれる。そんな時代がやってきました。

しかし、本当に網羅的に情報を入手したい時、AIの情報の網羅性や信用性を保証できず、結局自分で調べざるを得ない場合も少なくありません。

このサイトは、室内で野菜などの作物栽培を行う「植物工場」の情報ハブです。あえて情報を広くまとめたサイトを作成し、そこに掲載する情報を、AIの補助を用いながら人間が取捨選択する仕組みを実現しました。

また、専門的かつ最新の情報を初心者者が簡単に入手できるようなデザイン設計にも注力しました。



会話を資産化くん

AI 活用 表現 実装 サービス

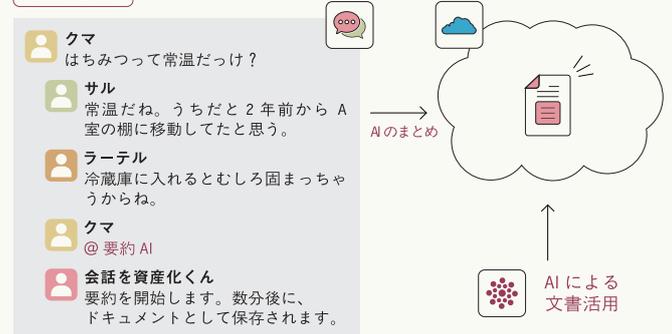
組織は、経験を積んだ人の集まりです。

AIを会社の一員として本格的に導入するとき、AIに御社についての情報をどう与え、理解させるかは大きな課題の一つとなるでしょう。

「会話を資産化くん」は、社内チャットで議論された思わず俗人化してしまう細かい情報を、メンション1つでドキュメントとして文書化して保存することができます。文書はドライブに保存して管理できるので、安全に、かつ半永久的に、高い自由度で管理することができます。

文書はもちろん人間も活用できますが、人間が目を通さない文書があったとしても、AIなら存分に学習に利用してくれることでしょう。

設計思想



株式会社シーみる

裏面まで目を通していただき、ありがとうございます。

ここまで読んでくださった皆さまに、もう少しだけ私たちのことを詳しく知っていただくよう、私たちの考えていることを綴りました。

Who we Are

われわれは、何者か。

大阪公立大学発ベンチャーです。現役の大学院生でありながら、様々な「伝え方をつくる」活動を行なっています。駆け出しの研究者としても活躍するメンバーが、日頃から深く考えていること、気がついたことを社会と一緒に実装していくために、弊社は生まれました。

私たちの考える、AIとのあり方。

生成 AI が社会に認知されはじめて、はや数年が経とうとしています。急速に開発が進み、毎週のように情報が更新される中、情報を追うだけで精一杯になってしまいがちです。しかし、業務活用の方法が色々と見えはじめた今だからこそ、ゆっくり AI と遊び、向き合えるような、そんな機会も必要なのではないかと考えています。また、日々進化が進んでいても、情報管理や権利問題、正確性など、まだまだ本格的に業務利用するには不安要素が残る部分も否定できません。

今後ますます進化する AI の導入に備えて、社内の体制は整えていくべきと考えている方々は、きっと多いでしょう。汎用的で簡単なことだけでなく、自社のことを深く知り、業務に入り込んでくれる AI の時代もすぐそこです。AI ができることや適切な関わり方、任せたいこと、任せられないこと、その距離感を肌で掴みながら、本格的な導入に向けて着々と社内にノウハウを蓄積し、AI のための環境も準備する。今は、そんなときなのではないでしょうか。

PICK UP

シーみる絵馬 ～今年目標を AI と作ろう～

AI 博覧会 Osaka2026 特別企画として、シーみる絵馬をご用意いたしました。4つの質問に対する回答を選択すると、AI があなたの 2026 年にピッタリな目標を作ります。

また、展示ブースでは2種類の絵馬シールをご用意しています。AI と作った目標を、実際に絵馬に書き込んで絵馬掛けパネルに貼って帰っていただくことができます。ぜひ、AI と歩む 2026 年の決意を、書き記してください。



会社情報・お問い合わせ

社名：株式会社シーみる

代表者：木澤陸斗

サイト：<https://cmiru.com>

お問い合わせ先：info@cmiru.com



具体的な内容でなくても、お気軽にご連絡ください。また、皆さまとお話できる機会を、楽しみにしています。